

金融市場NOW

世界の社会的責任投資 残高増加

近年では個人投資家も関心を寄せる

- 2016年の世界の社会的責任投資（SRI）の残高が22兆8,900億ドル（約2,500兆円）となった。
- 残高拡大のけん引役は欧州の投資家。また今回の報告では、日本の急成長が目立つ。
- 政府や公的年金の動き等から、民間の年金基金や運用会社の対応が求められるとみられ、今後の動向に注目。

世界持続的投資連合（G S I A）は、2016年の世界の社会的責任投資（SRI）の残高が、22兆8,900億ドル（約2,500兆円）と、2014年の前回調査に比べ25%増加したと発表しました。欧州や米国、日本でも残高が拡大し、近年は機関投資家のみならず、個人投資家のSRIへの関心も高まりつつあるようです（図表1）。SRIは、資金用途を『環境』や『社会問題』に限定した債券や株式への投資を行うもので、G S I AはSRIの普及を目的に啓蒙活動などを行う国際組織です。調査は欧州や米国、日本、カナダ、オーストラリアなどを対象に実施されました。

残高拡大をけん引したのは欧州の投資家です。2016年の保有残高は12兆400億ドルと、2014年比で12%増加、米国は8兆7,200億ドルで同33%伸びました。また、今回の報告において、日本の急成長が目立ちました。その背景の1つとして、2015年9月に年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が国連責任投資原則（PRI）に署名したことで、国内の運用会社が対応を迫られるようになり、日本において『ESG（環境・社会・ガバナンス）投資』という言葉が広がり始めたことがあげられます。

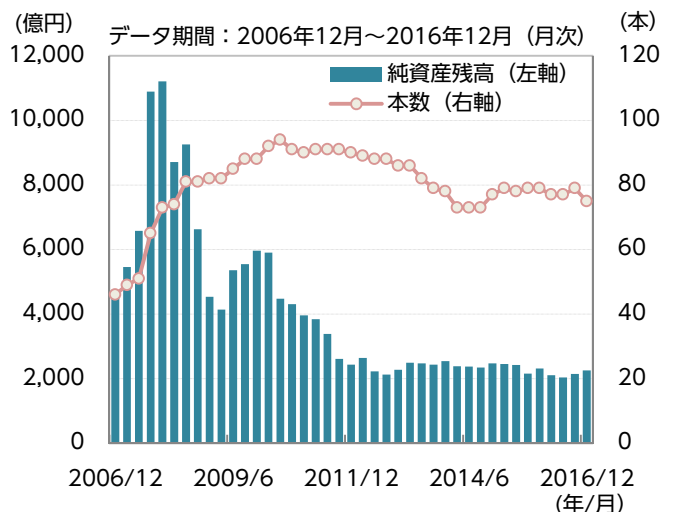
SRIの主な投資家は年金基金など機関投資家が中心ではあるものの、近年では個人投資家も関心を寄せているようです。欧州と米国、カナダを対象とする調査では2016年のSRI残高に占める個人投資家の保有割合は約26%となり、前回調査から約13ポイント伸びています。欧米においては、機関投資家を中心にSRIの市場規模が拡大しているものの、日本においては限定的であるのが現状です（図表2）。政府や公的年金の動き等から、SRIを取り入れる民間の年金基金や運用を受託する運用会社が増加する可能性もあり、今後の動向が注目されそうです。

図表1：SRI残高は欧米を中心に増加

	SRI投資残高		運用資産に占めるSRI投資の比率
	2016年	2014年	
欧州	\$ 12,040	\$ 10,775	52.6%
米国	\$ 8,723	\$ 6,572	21.6%
カナダ	\$ 1,086	\$ 729	37.8%
オーストラリア／ニュージーランド	\$ 516	\$ 148	50.6%
アジア（除く日本）	\$ 52	\$ 45	0.8%
日本	\$ 474	\$ 7	3.4%
合計	\$ 22,890	\$ 18,276	26.3%

※1：残高の単位は10億 ※2：投資比率は2016年の比率

図表2：近年SRI投信*の残高と本数は横ばい



※公募投資信託データ。SRIハイブリッド型投信の純資産残高は、SRI部分のみを算入しています。

出所：図表1は世界持続的投資連合（G S I A）、図表2は日本サステナブル投資フォーラム（J S I F）を基にニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会